

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 3 月補正予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：商業振興費

事業名 【新】企業タイアップによる県産品ブランディング強化事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 県産品流通支援課 国内展開係 電話番号：058-272-1111 (内3815)

E-mail：c11370@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 8,396 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	8,396	4,023	0	0	0	0	0	0	4,373
決定額	8,396	4,023	0	0	0	0	0	0	4,373

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・県内には地域資源を活かした「岐阜ならではの」の商品が多くあるが、東京、大阪など都市部の消費者にその魅力が十分に伝わっておらず、他の地域産品との「違い」や「選ばれる理由」が明確でない。
- ・都市部への販路開拓のためには、岐阜県産品としての一貫したストーリー性、イメージ戦略が必要である。そのため、地域産品のブランディングの知見を有する企業とのタイアップにより県産品のブランディングを行い、ブランド力及び競争力を強化する。

(2) 事業内容

- ・マーケティングセミナー開催
- ・ブランディング強化のためのワーキンググループ開催
- ・県産品のブランドストーリーブック制作
- ・企業タイアップによる県産品ブランディング(商品改良等)
- ・都市部におけるテストマーケティング開催

（３）県負担・補助率の考え方

都市部への販路開拓に向けた支援施策は、事業者の販売力、商品開発力を高め、雇用創出につながる経済対策及び地域活性化対策であり、県負担は妥当である。

（４）類似事業の有無

なし

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	32	プロポーザル審査会委員報償費
旅費	245	職員旅費等
需用費	36	消耗品費
役務費	36	通信運搬費
委託料	8,047	事業委託費
合計	8,396	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

「岐阜県経済・雇用再生戦略（R5～R9）」

５ 県産品の世界展開プロジェクト

（２）国内における販路拡大支援

（３）著名デザイナーとの連携等による新商品開発・ブランド力向上

（２）国・他県の状況

近隣県及び同規模人口県において販路開拓のための地域産品のブランディング、商品改良等を実施している。

（３）後年度の財政負担

県産品ブランドの向上及び都市部における認知度向上のためには、継続的な支援が必要である。

（４）事業主体及びその妥当性

県内の中小事業者は、単独で都市部のニーズの把握・分析やテストマーケティングを実施することが困難である。県がマーケティングの機会を提供するとともに、県産品のブランディングを行うことで、企業の商品力・販売力が向上し、更なる販路開拓につながる。

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

企業とのタイアップにより県産品のブランディングを行い、県産品のブランド力及び競争力を強化することで、都市部での販路開拓を実現する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
ブランディング 実施件数(延べ)	—	—	—	10	30	—

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和5年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和6年度	令和7年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)
3

県内の中小事業者は、単独で都市部のニーズの把握・分析やテストマーケティングを実施することが困難。また、対象となる商品を県内から広く募集して取りまとめ、広域的なブランディングを進めるためには、県の支援が必要。

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

本事業において実施したブランディングの浸透のために、都市部における販売機会やプロモーション機会を提供する必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

複数地域、カテゴリーのブランディングを実施し、岐阜県ブランドの底上げをするために、複数年に渡り継続的に取り組む必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など

【〇〇課】